

BCG予診票に必要事項をご記入のうえ

月 日 時 分ごろにおいでください。

当日は、左肩を抜ける(前あきの)衣類で来てください。

お母様の髪を 赤ちゃんの接種部位に触れぬよう 前もって束ねておいて下さい。

BCGは、結核を予防します

結核は生まれたばかりの赤ちゃんでもかかります。赤ちゃんがかかるとより重症となりやすいことが知られています。BCGは、標準的には生後5か月から8ヶ月になるまでに接種します。場合によっては、より早期に接種することもあります。

接種の方法

ワクチン液を左上腕外側ほぼ中央に塗りつけ、9本の針のついたスタンプを2か所に強く押しつけて接種します。

乾くまで院内でお待ちいただきます

接種すると血がにじむことがあります。心配ありません。そのまま触らずに、また服や髪の毛などにワクチン液がつかないように注意しながら、自然乾燥させます。

つばきが飛んだりするので、接種したところを口でフーフーしてはいけません。

通常、乾くの10分から15分程度かかります。乾いたらお帰りください。

接種した日は、接種した部位を日光に当てたり、こすったり、もんだり、かいたりしないでください。ばんそうこうを貼ることも避けてください。入浴はかまいませんが、接種した部位はながすだけにしましょう。

接種してから10日間は、接種したところを毎日観察しましょう

通常は 接種当日から翌々日までは接種部位が赤くなるがありますが、その後赤みは落ち着きます。接種約2週間後には針あとが赤く盛り上がり、4週間後には膿をもったかさぶたになります。これは正常な反応で、1～2か月で落ち着きます。

コッホ現象 通常は接種2週間後から針あとが赤くなるのですが、接種後3日以降 10日後までに針あとの赤みが隣の針あとの赤みにくっつきそうな場合は、電話045-846-1088 でご連絡ください。



副反応 針あとがひどくジクジクすることが続いたり、わきの下のリンパ節が大きく腫れたりしたら、一応受診してください。

4週間後には他の予防接種を受けることができます

竹田こどもクリニック 文責：竹田 弘 第10版 2014.10.01